

38

地域防災力の中核を担う消防団に関する対策

概要: 消防団の災害対応能力の向上のため、消防団が使用する車両・資機材の充実・強化を図る。
府省庁名: 消防庁

本対策による達成目標

◆中長期の目標

車両・資機材の配備による消防団の災害対応能力の向上により、地域住民の安全の確保を図る。

特に風水害に対応した十分な車両・資機材を備え救助活動等を行える消防団の割合※

現状: 未調査(令和3年度より調査)

中長期の目標: 100%

本対策による達成年次の前倒し

令和7年度以降 → 令和7年度

※消防力の整備指針(平成12年消防庁告示第1号)及び消防団の装備の基準(昭和63年消防庁告示第3号)において定める、地域特性を勘案した数や地域の実情に応じて必要な数、分団等ごとに必要と認められる数量を備える消防団の割合

◆5年後(令和7年度)の状況

・頻発化する豪雨等を踏まえ、全国の消防団が風水害に対応するための十分な車両・資機材を備える。

◆実施主体

国・地方公共団体



救助用資機材等搭載型消防ポンプ自動車(イメージ)

1

概要：消防団の災害対応能力の向上のため、消防団が使用する車両・資機材の充実・強化を図る。

府省庁名：総務省

主な該当施策グループ：2-1) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足

展開方向(5本柱)：(5)地域における防災力の一層の強化

2

重要業績評価指標(KPI)の推移

◆ 指標の名称(単位：%)

特に風水害に対応した十分な車両・資機材を備え救助活動等を行える消防団の割合

進捗状況と中長期の目標との間に乖離があるため、目標達成に向けて、風水害対策の必要性を周知するなど対策の加速化を図る。

対策策定時		進捗状況 令和3年度	進捗状況 令和4年度	5か年完了時 の達成目標	中長期の 目標	中長期の 目標年度
現状値	年度					
35.7%	令和2年度	38.5%	41.5%	100%	100%	令和7年度

3

対策の加速化の状況

本対策については、3年目となる令和5年度までに、加速化に係る事業費7,335百万円(予算額5,735百万円)を確保しており、対策を推進している。

また、消防団のニーズを把握する中で補助対象資機材を拡充し、対策の加速化を図っている。

4 予算の状況

5か年加速化予算

(単位:百万円)

令和2年度補正 (1年目)	令和3年度補正 (2年目)	令和4年度補正 (3年目)	3年目まで 合計額
1,287	2,224	2,224	5,735

(参考) 執行済額(令和2年度補正の決算額)(単位:百万円)

令和2年度補正
決算額

1,050

対策概要: 消防団の災害対応能力の向上のため、消防団が使用する車両・資機材の充実・強化を図る。

府省庁名: 総務省消防庁

5-1 【事例】救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸付事業

- 実施主体: 市町村
- 実施場所: 埼玉県吉川市 等
- 事業概要:
救助用資機材等を搭載した消防ポンプ自動車を無償で貸し付け、訓練を実施することにより、消防団の災害対応能力の向上を図り、地域防災力の一層の強化を目指す。
- 事業費: 令和4年度補正予算 19.7億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 19.7億円)
- 効果:
令和5年梅雨前線による大雨に伴い、埼玉県吉川市では道路冠水が発生したところ、本事業を活用して配備した救助資機材・小型動力ポンプ搬送車を用いることで、速やかな排水作業を複数箇所で行うことができた。
その他、無償貸付車両を使用して冠水した道路への止水板等の設置(福岡県筑後市 他)が実施されるなど、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。



【埼玉県吉川松伏組合消防本部提供】

【救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車】

【搭載資機材(例)】



AED



油圧切断機



ジャッキ



トランシーバー
(デジタル簡易無線機を含む。)



エンジンカッター



チェーンソー



発電機



投光器

効果概要: 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号等において、消防団設備整備費補助金を活用して配備した資機材を活用することで、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。

府省庁名: 総務省消防庁

5-2 ■ 実施主体: 愛知県安城市 等

■ 概要:

愛知県安城市では、大雨に伴う河川の増水があったところ、消防団設備整備費補助金を活用して配備した救命胴衣を用いることで、団員の安全を確保した上で、巡視活動を実施することができた。

その他、住民の救助活動においてトランシーバーを用いた団員間の即時的な状況報告(山口県山口市)や、倒木被害の現場においてチェーンソーを用いた撤去活動(和歌山県紀美野町)が実施されるなど、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。

■ 事業費: 令和4年度 約7.5億円
(うち5か年加速化対策約2.5億円)

■ 補助対象事業者:
都道府県(消防学校で使用するものに限る。)
市町村(一部事務組合及び広域連合を含む。)

■ 補助金の趣旨・発揮される効果:

災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団への救助用資機材等の整備を促進することを目的。近年の災害頻発、3か年緊急対策の実績を踏まえ、5か年加速化対策においても、大規模災害に対応できるよう支援。



配備した救命胴衣

愛知県安城市提供

補助対象資機材等(例)

